

Weekly Bulletin 2012-2013



RI会長
田中作次



奉仕を通じて平和を

静岡東ロータリークラブ

会長 / 戸塚敦雄 幹事 / 杉田至弘

事務局 / 静岡市美区伝馬町9-3 芝田ビル3F TEL054-254-5611

例会場 / ホテルアソシア静岡 例会日 / 毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
戸塚敦雄

第 2596 回例会

平成 24 年 11 月 22 日 天候 曇り

- 《司 会》 杉田至弘 君
- 《合 唱》 「静岡東ロータリー」
- 《BGM》 「Mozart・ピアノ協奏曲第 21 番」他
- 《ゲスト》 蟹の剥製研究家 駿河一郎 氏
- 《ビジター》 三城苑子 君 (日本平RC)

《本日のお祝い》

お誕生日 結婚記念日

- 11月24日 久野義彦 君 11月24日 高柳正雄 君
- 11月27日 土山博英 君 11月24日 鈴木洋一 君

《会長挨拶要旨》

皆さん こんにちは

先週末は当クラブからは 20 名の会員さんが地区大会へ参加してまいりました。

先週の例会で、予め判っている範囲で地区大会のプログラムについてご紹介を致しましたので本日はお話ししていない内容を少しご紹介致します。

「超我の奉仕賞」の表彰がありました。ロータリアン個人を称えるロータリー最高の賞であり、ロータリーを通じて積極的なボランティア活動を実践し、他の人々を助け、模範的な人道的奉仕を実践した人々に贈られるものです。毎年、最高 150 名の受賞者が選ばれますが、今年は第 2620 地区で初めての受賞者生まれました。受賞されたのは浜松中RCの山口貴司さんという 1990 年入会の職業分類 循環器内科のお医者さんです。

山口氏は 1990 年より日本における外国人医療に関心を持ち、外国人診療を積極的に始めました。一時期ネパールに定住して医療奉仕活動を行いましたが体調を崩し帰国しました。2010 年より多言語通訳を配備した外国人のための国際クリニックを浜松で開業しました。1996 年浜松中RC創立 10 周年記念事業として「外国人のための無料健康相談と検診会」を実施しました。

これを機に浜松中RCの国際奉仕活動を担いつつ、地域における市民活動との連動を実現することを目的に「浜松外国人医療援助会 (MAF 浜松) を設立し、毎年 10 月に「検診」活動を継続した結果、受診者は 6000 名(20 各国)を超えているそうです。この活動は、ロータリアン、ロータリークラブ、外国人コミュニティー、病院、医師、看護師ほかパラメディカル、企業、学生等のボランティアによる大きな「ヒューマンネットワーク」を形成する市民活動として成長していると紹介されました。

私達の身近な浜松のロータリークラブでこのような活動が行われていたことは大変嬉しく感じましたのでご紹介を致しました。

ガバナーエレクトとしては静岡RCの志田さんが紹介され、次年度のホストクラブを代表して静岡RC伊藤会長が挨拶をされ、来季の開催時期は 2014 年 2 月となることが発表されました。又、ガバナーノミネーとしては浜松北RCの岡本一八 (株式会社丸八真綿取締役相談役) が紹介されました。

大懇親会終了後は日本平RCの皆さんと一緒にバスで静岡まで帰りましたが楽しい交流が出来たのではないのでしょうか？

さて、地区大会も終わり年末に向けて、ゴルフ大会・食べ歩き会・年末家族会とクラブ内の親睦をはかる楽しい企画が続きます。親睦グループの皆さん宜しくお願い致します。年末に選挙等もあり、会員の皆様もお忙しいとは存じますがお誘い合わせの上、御参加頂ければ何よりです。

《第 278 回くらく会報告》

平成 24 年 11 月 21 日 (水)

兼題 「短日」「焚火」 他当季雑詠

出席者 6 名 投句者 2 名

- 第 1 席 読んでいる小説佳境日短か 坂本白葉子
- 流木を拾い集めて浜焚火 前田修一
- 追想を煙にのせて落葉焚く 今井富子
- 第 2 席 焚火消え人生かくやかうす煙り 司馬 速

《来賓卓話》

蟹の剥製研究家 駿河一郎 氏



本日のゲストは蟹の剥製研究家でいらっしゃる駿河一郎さんです。

駿河さんは非常に多彩なお顔をお持ちで、次のような肩書をお持ちです。

- 蟹の剥製研究家(駿河流)
- 日本陸上競技連盟公認S級審査員
- 全国スターター研究会会員
- 静岡県陸上競技協会審判員(スターター)
- 日本綱引連盟公認AA審判員
- 静岡市文化協会理事
- 清水マジック協会会長
- マジック研究家イリュージョン
- 静岡県自然史博物館正会員
- 三保神社文化財保存会会長



本日は 50 種類以上の蟹の剥製を会場にお持ちくださり、ひとつずつ丁寧にその特徴を説明くださいました。

「タラバガニは蟹と呼ばれるけれど蟹の仲間ではなく、ヤドカリの仲間です」「蟹は茹でるよりは蒸したほうが蟹の風味がよく出て美味しいです」など蟹にまつわる面白いお話をしてくださりました。

駿河さんは生まれが清水三保で、駿河湾の海の幸を食べて育ちました。地元の漁師の方が引き上げる地引網にかかってくる中では魚が主役で、蟹は脇役となり見向きもされない。水族館に行っても蟹は見ることはないのです、この蟹たちをどうにか主役にできないかという気持ちが、この作品作りに取り組み始めたきっかけで、剥製を作り始めてから約20年経ち作品展も多数開かれています。

駿河湾には沢山の蟹がいて、およそ100種類いるといわれているそうです。その内の80%はすでに剥製にしたとのこと。「静岡はプラモデルで有名ですが私にとってはこの蟹たちが私のプラモデルという気持ちで標本にしてみました」とおっしゃいます。「深い駿河湾の海はまだ見たことのない生物がたくさんいると思います。彼達に出会うことをすごく楽しみに海を散歩しています。漁師さんとコンタクトを取りながらこれからも蟹集めをしていきたいと思います」とこれからも更なる蟹の剥製作りに励まれていかれるようです。



(アミメノコギリガザミ) (シマイシガニ)



(オオエンコウガニ)



(ハリイバラガニ)



(エゾイバラガニ)

《スマイル報告》

戸塚敦雄 君 地区大会ご参加の皆様ありがとうございました。本日は「蟹のお話」標本の数々を見せていただきありがとうございました。駿河一郎様に感謝してスマイルします。

曾根正弘 君 本日は多方面に才能あふれる駿河一郎様を卓話にお迎えできたことに感謝いたします。ミャンマーに17人の一行で視察旅行してきました。静鉄観光サービスさんにお世話になりました。みあげ話は個別に。

高柳正雄 君 結婚記念のお祝い、ありがとうございます。たぶん38回目です。我家は娘も息子も記念日がそれぞれ1日違いなので、40回目くらいまでは何もなくても何も言われなと思います。

小野高史 君 11月18日の結婚記念日にお花を頂きました。有難うございます。因みに私はしっかり覚えていましたが、妻は花が届いて思い出したようです。ということなので来年もよろしくお祈いします。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
11/22	57(53)	35	18	-	-	-
11/15	57(53)	42	11	-	-	-
11/8	56(53)	38	15	10	5	90.57%